

■ プレゼント

JEASジュニア  
科学メンバーバッジ



# 現地で学ぶ復興支援

工業会として、専門家から復興を学ぶことは後進への指導・恩送りとなるはずです。また現地に行くこと、それ自身が復興の社会的なご支援になると及ばずながら拝察します。

# 共に生きる



2025  
**8/1**  
金

01  
8:20頃

茨城県牛久駅 東口集合 牛久フェニックスバスで出発  
(高速道路、途中休憩あり、車中で専門家からのレクチャーあり)

02  
11:00

東京電力廃炉資料館  
[https://www.tepco.co.jp/fukushima\\_hq/decommissioning\\_ac/](https://www.tepco.co.jp/fukushima_hq/decommissioning_ac/)

03  
12:45  
13:40

道の駅なみえの施設見学と昼食  
全国初「ポケモン公園」ポケモン遊具多数あり、大堀相馬焼コーナーや陶芸体験教室、銘酒「磐城壽」生搾りや出来たての酒粕（製造工程を生で見学）、絶品「なみえ焼きそば」、お土産に名代の「エキソンパイ」など <https://michinoeki-namie.jp/>

04  
13:40  
14:00

派遣者※による道の駅内の案内

※経済産業省から派遣され支援されている職員

05  
14:00  
15:00

派遣者※による浪江町内の視察

06  
15:00

現地出発（帰り）、途中ハワイアンズ経由（ハワイアンズに泊まる方は下車。各自手配）  
●ハワイアンズ下車の方が少ない場合は経由無しで、高速に乗る前に近隣の駅まで乗車いただきます。

07  
17:30  
18:10頃

牛久駅着 解散（なお、牛久駅から東京駅は、在来線で1時間程。片道990円。各自負担）  
●帰りの車内で、子どもたちなどから感想を聞き、今後に活かします。

子どもたち、  
お母さん、お父さん、  
おばあちゃん、おじいちゃん、  
友達、いとこ、会社のお仲間、

**みんなで学ぶ  
夏の勉強会です**





# JEASが小・中学生向け「ラジオ手作りセミナー」

## 電波利用や科学技術への興味を深めてほしい

工業会日本万引防止システム協会(JEAS、稲本義範会長)技術基準委員会と有志メンバーは、総会員数が60社を超えたその感謝の念を恩送りしたいと思い、子供たちと『電源不要のラジオ製作の言い知れぬ感動』を共有して、その体験を通し電波利用や科学技術への興味を深めてもらいたいと、小学生高学年から

中学生を対象に「ゲルマニウムラジオ手作りセミナー」を、8月2日にYOTSUYA TOWER(東京都新宿区)で開催した。参加者には「ラジオ」

と「JEASジュニア科学実験・工作アドバイザーは

筑波大学数理解物質系准教授

の小林正美先生。

工業会日本万引防止シ

ステム協会は、万引防止シ

ステムを製造、販売、サポー

トする企業の業界団体であ

り、流通業界の健全な経営、

また青少年の非行防止とい

う産業的、社会的役割を果

たすべく、行政機関、関連

業界団体とも連携し活動を

## 親子で作業、「わーすごい！聞こえたよ！」と歓声

と「ラジオ」

す。みんなで一緒になつてラジオをつくりましょう」と述べた。

小林道夫先生は「私は今から50年くらい前の小学校の時に、ゲルマニウムラジオを作った経験があります。この部屋がエアコンで涼しいのも電気のおかげ。ゲルマニウムラジオのいちばん面白いところは電気を使わないところ。バッテリーも使わずにラジオが聞ける。そんな装置が皆さんの手で作れますので今日は1日がんばってください」と話した。

主催者あいさつした稲本義範会長は「本日は私たちが少年時代に、ほんとうに苦労して作った永遠に聞こえる、電池を使わないラジオを作ります。大人でも苦労するのですが、苦労こそ楽しいところもありま



「ゲルマニウムラジオ手作りセミナー」の模様



ラジオを最初に完成させた親子が屋外で試聴した



最後に参加者、関係者で記念撮影

た。

ゲルマニウムラジオが完成した親子はさっそく屋外でラジオ放送を聞いていた。「わーすごい！聞こえたよ！」「電波つてすごい！」と歓声があがっていた。